

令和8年度 武豊町学校教育の指針

武豊町教育委員会

1 学校教育の目標

第6次武豊町総合計画の策定を受けて、武豊町立小中学校は、未知の時代に、一人一人が未来の創り手となる人材として、自ら考え行動できる「主体的に生きる子ども」を育てます。

第6次武豊町総合計画の基本構想

「心つなぎ みんなでつくる スマイルタウン」

まちづくりの目標3 楽しく学び、いきいきとした生活ができるまち

2 日々の教育活動を通じて育て上げていく子どもの姿

求める子ども像 確かな学力、豊かな心、たくましい体

- 進んで、あいさつ・返事・整理整頓ができる礼儀と節度をもった子ども
- 自ら学び、自分の思いや考えをはっきりと表現できる子ども
- 自分の考えを表現したり、他人の意見を聞いたりして、自らを高め、周りとともによりよく生きようとする子ども
- 人々や社会のために役立つことに喜びをもち、進んで行動する子ども
- 自他のいのちを尊重し、思いやりの心をもち、進んで心や体を鍛える子ども

3 日々の教育活動を通じて創りあげる具体的な学校の姿

求める学校像 はつらつとした学校生活、あいさつが行き交う学校、安全・安心な学校

- 子どもが通いたくなる学校
いじめを許さない安全・安心な環境でのびのびと生きる力を育むことができる学校
- 保護者が通わせたい学校
安全に安心して学校に送りだし、日頃の教育活動や我が子の成長を実感できる学校
- 教職員が勤めたい学校
子どものために教育愛と情熱、使命感をもって勤められる学校

4 本年度の重点努力目標 及び 指導の重点

「いのちの教育」の推進・新たな教育課題への積極的取組

① 「いのちの教育」を推進し、「いのち」を大切に子どもを育てます。

- ・教育活動全般の中で、「自他のいのちの尊重」や「命のつながり（連続性）」について、子どもが意識できる場面を設ける。
- ・「SOS出し方教育」「考え、議論する道徳」「情報モラル教育」等の充実を図る。

② すべての教職員が「特別支援教育の専門性」を高めることで、子ども一人一人を大切にした教育の充実を行います。

- ・特別支援教育相談員等の専門家を招いて特別支援教育に関する研修を行ったり、積極的にケース会議を開いたりするなどして、子ども理解について学ぶ場を設ける。
- ・校長、教頭、特別支援教育コーディネーター等を中心として、特別支援教育に係る校内でのOJTを促進する。

③ いじめ問題や不登校支援に組織的に取り組みます。

- ・スクールソーシャルワーカーやスクールサポーターを始めとした関係諸機関と教職員が連携して、個に応じた支援を行う。
- ・いじめ問題については、相談窓口を情報提供するとともに、首長部局と連携を図り、対応を進める。
- ・不登校支援については、不登校支援ガイドをもとに、不登校児童生徒の居場所や相談窓口について情報提供するとともに、「校内教育支援センター」「武豊町教育支援センター（ステップ）」等を活用し、個に応じた支援の場を提供する。

④ ICT機器を活用した教育活動を推進します。

- ・タブレット型端末や電子黒板など、ICT機器を活用した教育効果の高い指導・活用方法についての推進を図る。
- ・小中学校の接続を意識したプログラミング教育について、調査・研究する。

⑤ 教職員の働き方改革を推進します。

- ・武豊町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画を策定する。また、「多忙化解消プラン策定委員会」を引き続き設置し、各校の実情や要望を鑑みて在校等時間の削減に向けた施策を検討・実施する。
- ・武豊町教育委員会生成AI利用ガイドラインに基づき、業務効率の改善に向けて、調査・研究する。

⑥ 社会に開かれた学校の実現を目指し、家庭・地域社会との連携を進めます。

- ・SDGsや脱炭素社会の実現、異文化理解を中心とした国際理解教育など、時代に即した教育課題に取り組み、次世代に向けた人材の育成を図る。
- ・コミュニティ・スクールの導入校を拡大し、家庭・地域社会との連携を進める。